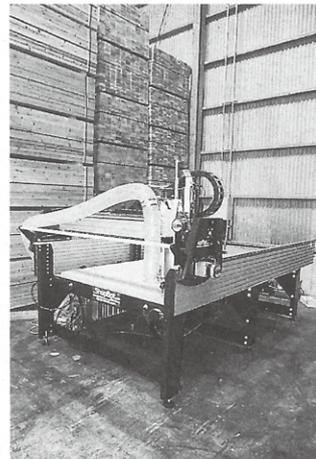


横架材ラインを更新

ShopBotも導入 村上木材・プレテック



ShopBotで新たな需要も取り込む

るが、佐原社長は「増—55を導入。集塵機などを含めて設備投資は約6億円、経済産業省の補助事業を活用している」と話している。

同社は大阪・南港に

村上木材(大阪市、佐原謙次社長)は、グループのプレカット会社のプレテック(同、矢山勝司社長)の横架材加工機MPS-VXを今年中に更新し、多種加工機MPS-55を追加する。これにより加工効率は10%向上す

る。また、工場内には3次元木材加工機ShopBotも導入し、ムク一枚板を加工・販売する「オフィスM's」との連携で木工品なども制作する。本社

工場では宮川工機

MPS-VXとMPS

横にあるオフィスM'sでは現在ショールームを増設中で、完成後はShopBotを移設して一枚板の加工販売との連携を強化していく。

サイディングプレカットにも取り組み、月間20棟前後を加工する。村上木材は輸入木材の扱いに強い問屋で、北米材、欧州材、ロシア材などを輸入しており、コスト的には厳しいが、当社の特徴でもあり、これを継続していく(佐原社長)。